

<速報>

\* 4月1日、中国の習近平国家主席がワシントンで開催されている核保安サミットで演説し、核の安全管理で「中国が政治的な関与を強化し、核テロの脅威に対して国際的な協力を積極的に推進していく」と表明した。

\* 4月1日、ワシントンで開催されている核保安サミットで、昨年7月のイラン核問題最終合意に参加した6ヶ国協議参加国首脳・閣僚らが会談し、「外交の成功」（オバマ大統領）などと改めて合意を評価した。同サミットは、「核テロの脅威は国際社会への最大の挑戦の一つであり、増大し続けている」などとした共同コミュニケを発表して閉幕した。

\* 4月2日未明、旧ソ連のアゼルバイジャンから独立を主張しているナゴロノ・カラバフ自治州でアゼルバイジャン軍とアルメニア軍が衝突、双方の軍人少なくとも30人が死亡した。アルメニア国防省はアゼルバイジャン側が砲撃、戦闘車両、航空機による攻撃を始めたと主張。アゼルバイジャン国防省は、自治州に隣接する集落がアルメニア軍から集中的な攻撃を受けたと発表した。

\* 4月3日、アゼルバイジャン側が「一方的停戦」を発表。しかし、その後も戦闘は続いている。

\* 4月4日、ギリシャ政府が3月にトルコで合意した難民抑制策であるトルコに向けた難民や移民の送還を始めた。

\* 4月5日、ロシアのモスクワとペテルブルクで「オウム真理教」の信者の拠点25ヶ所への強制捜査が行われた。3月中にはモンテネグロで、日本人を含む約60人の信者が拘束された。

\* 4月5日、アゼルバイジャン国内のナゴロノ・カラバフ自治州をめぐるアゼルバイジャン軍とアルメニア軍の衝突に関し、双方が5日に停戦に達し、同日正午から停戦に入った。

\* 4月5日、シリア北部アレッポ県の上空で政府軍の戦闘機1機がアルカイダ系の武装組織「ヌスラ戦線」に撃墜され、パイロット1人が身柄を拘束された。

\* 4月5日、内戦状態のリビアの首都トリポリを掌握するイスラム勢力の政府が、政府としての職務を停止し、国連が樹立をめざす統一政府に権限を委譲することを決定した。

\* 4月6日、オランダでEUとウクライナの自由傍記を軸とした連合協定を問う国民投票が実施され、反対が多数を占める（反対約61%、賛成約38%）。

\* 4月7日、アルゼンチン検察は、連邦判事に対してマクリ大統領への捜査許可を求めた。同大統領はバハマとパナマに設立されたオフショア（非居住者向け）企業2社の役員だったことが明らかになっている。

\* 4月7日、米国アフリカ軍のロドリゲス司令官が内戦状態のリビア国内で活動する「イスラム国」の戦闘員の規模に関し約4000～6000人に達したとの情報当局の見積もりを公表。

\* 4月7日、イギリスのキャメロン首相が亡父が租税回避地に設けたファンドに自分も投資していたことを認めた。

\* 4月11日午前零時、イエメンで停戦が発効。ハディ暫定大統領派と反政府組織「フーシ派」が3月23日に停戦合意していたもので、国連の仲介による和平協議が18日からクウェートで開始される予定。

\* 4月11日、広島市で開催されているG7外相会合に出席した各国外相が同氏の平和記念公園を訪問した。公園内の広島平和記念資料館（原爆資料館）を訪問し、原爆死没者慰霊碑に献花した。

\* 4月11日、ブラジルのルセフ大統領に対する弾劾の是非を検討している連邦下院議会の特別委員会が同大統領の弾劾開始を指示する内容の報告書を賛成多数で承認した。

\* 4月11日、イスラエルのネタニヤフ首相がシリア紛争で武装組織「ヒズボラ」が武器を入手することを阻むため、イスラエル軍がシリアで「ヒズボラ」を攻撃したことを初めて認めた。

\* 4月11日、フランスのルドリアン国防相が「イスラム国」の主要拠点であるイラク北部のモスルとシリア北部のラッカについて年内に陥落する可能性が大きいと発言した。

\* 4月12日、アフガニスタンの反政府勢力「タリバン」が国内に駐留する国際部隊排撃に向けた「春季攻勢」の開始を宣言した。

\* 4月13日、シリアのアサド政権支配地域で4年間の任期満了に伴う人民議会（一院制、定数250）選挙が実施された。反政府派は参加しなかった。

\* 4月14日、ロイター通信はフィリピン南部で9日に軍とイスラム過激派「アブサヤフ」の交戦が発生し、「イスラム国」が実行を名乗り出る声明を発したと報道した。「アブサヤフ」は「イスラム国」に忠誠を誓っているとされる。

\* 4月15日、スペインのソリア産業相がタックスヘイブン（租税回避地）利用の温床と批判されているパナマの法律事務所との関係が報じられたことを受け、自認する意向を表明した。

\* 4月16日、ローマ・カトリック教会のフランシスコ法王が欧州を目指す難民や移民が状立するギリシャのレスボス島を訪問。EUとトルコとの合意で送還を前提に拘束中の人々と面会した。「難民は“数”ではない。みなが顔をと名前と物語を持つ人間だ」と話し、人道支援の必要性を訴えた。

\* 4月16日、キューバ共産党第7回大会が5年ぶりに開催された。ラウル・カストロ国家評議会議長は報告の中で、対米関係に関して「両国関係は主権の平等、内政不干渉に基づかなければならない」と強調、米国が続ける経済封鎖の解除とグアタナモ米軍基地の返還を求めた。

\* 4月17日、ブラジルの連邦下院議会議長がルセフ大統領を弾劾すべきだとする意見を全員の3分の2位階の賛成で可決した。上院でも賛成意見の可決が有力視されており、ルセフ大統領は180日間の職務停止処分に追い込まれる可能性が高い。

\* 4月17日、イスラエルのネタニヤフ首相がシリア領の占領地ゴラン高原で初めて閣議を開き、「ゴラン高原が永遠にイスラエルの主権の下にある」と国際社会が認めるべきだと

訴えた。

\* 4月18日、シリアのアサド政権に反対する武装勢力が政府軍と戦うとして新たな戦闘に入ることを宣言した。反体制派は政府軍がアレッポで実施している奪還作戦を「停戦違反だ」と非難、北西部ラタキアや中部ハマでの戦闘を再開した。2月末に合意した敵対行為の停止（停戦）が事実上崩壊。同日、反体制派の主要団体「高等交渉委員会（HNC）」代表さんは国連欧州本部での協議への「公式参加」を中止すると表明。

\* 4月18日、スペインの左派野党ポデモスが最大野党・社会労働党を中心とする連立政権への参加の是非を問う党員投票を実施し、反対票が88%に上ったと発表。

\* 4月18日、米国国防総省が「イスラム国」掃討作戦でイラクに特殊部隊員217人を増派すると発表した。モスル奪還に向けた措置で、米兵はより前線に近い場所でイラク政府軍の支援を行う。

\* 4月18日、エルサレム南部でバス爆弾事件が発生。21日、イスラエル治安当局は「ハマスのメンバーによる自爆テロであったと断定した。

\* 4月19日、アフガニスタンの首都カブール中心部にある用心警護部隊の施設前で何かが爆弾を満載したトラックごと自爆し、直後に仲間とみられる武装した男が施設内に乱入して、治安部隊と銃撃戦になり、民間人を含む少なくとも64人が死亡、347人以上が負傷した。カブール市内で起きたテロ事件としては最大規模となる。

\* 4月19日、キューバ共産党の第7回党大会はラウル・カストロ第1書記（国家評議会議長）らを再任して閉会した。党指導部に革命世代が多く残り、5年後に次の党大会が開催される。

\* 4月20日、エチオピア政府が隣国南スーダン領内にエチオピア軍が越境していることを認めた。エチオピア軍は同国西部を襲い100人以上の子どもの命を奪った南スーダンの武装勢力を追跡中。政府報道官は「南スーダン政府の同意を取り付けている」と表明。

\* 4月21日、イエメンの内戦終結に無行けた国連の仲介による和平協議がクウェートで始まった。ハディ暫定大統領は18日に現地入り、21日までに反政府組織「フーシ」の代表団も到着した。

\* 4月21日、EUがルクセンブルグで内相理事会を開催し、欧州に押し寄せる難民の問題やテロ対策の一環として、域外との国境警備をEU主導で強化するため「欧州国境沿岸警備隊」を早期に創設することで一致した。

\* 4月21日、オバマ大統領がリヤドで湾岸協力会議（GCC）6ヶ国の首謀と会談。会合後の記者会見でオバマ大統領は、サウジなどと対立するイランへの対応について「防衛の準備」と「緊張緩和の対話」の2つが必要だとGCC首脳に述べたことを明らかにした。

\* 4月22日、パナマの捜査当局がタックスヘイブン（租税回避地）に関する「パナマ文書」が流出した法律事務所「モサック・フォンセカ」の関係先を捜索し、裁断済みのものを含む書類などを押収した。

\* 4月22日、オバマ大統領が訪問先のイギリスで同国のEU残留を指示する考えを表明

した。EU離脱派が求める米国との自由貿易協定（FTA）については、「米国はEUという、より大きな地域との交渉に修験を置いている」と述べ、二国間FTAでイギリスは優先順位が低いと述べて離脱派を牽制。

\* 4月22日、キューバ共産党機関紙『グランマ』が、キューバ政府が国民に対して米国と往来する際の商用船の利用を26日から解禁すると報じた。同紙は「米国との相互協力を進める上で重要な前進である」と論じた。

\* 4月24日、北朝鮮の朝鮮中央通信が23日に金正恩第一書記が立ち会って、潜水艦発射弾道ミサイル（SLBM）の発射実験に成功したと報じた。韓国軍は、23日の北朝鮮のSLBM発射は「飛距離が約30キロでSLBMの最小限の射程300キロにはるかに及ばない水準」として失敗した可能性を指摘。

\* 4月24日、セルビアで議会選挙（定数250）が実施され、開票率97%でEU加盟交渉を進めるプッチ首相の中道右派「セルビア進歩党」が得票率48%で131議席を占めた。

\* 4月24日、オーストリアで大統領選挙の投開票が行われ、反欧州統合派で難民受け入れに反対する右翼「自由党」のノルベルト・ホファー（45）が得意立36%で2位に大差をつけて5月22日の決選投票に進出を決めた。

\* 4月24日、OASの米州人権委員会の専門家チームは、2014年9月にグレーロ州で学生43人が拉致・殺害された事件に関して、メキシコ政府が真相究明を妨害したと批判する報告書を公表した。

\* 4月25日、オバマ大統領が訪問先のドイツ・ハノーバーで演説し、「イスラム国」掃討作戦を強化するため、シリアへの特殊部隊約250人を増派すると述べた。

\* 4月25日（日本）、高松高裁において「在特会」の課員らが6年前に徳島県教職員組合で罵声を浴びせた行動をめぐり県教組と当時の女性書記長が在特会側に慰謝料など約2000万円の賠償を求めた訴訟の控訴審判決が、生島弘康裁判長は「人種差別的思想の現れ」で在日朝鮮人への支援の萎縮を狙ったと判断、女性の精神的苦痛を一審よりおもくとらえ、倍近い436万円の賠償を命じた。

\* 4月25日、コロンビアのサントス大統領がFARCとの和平交渉を推進し、経済対策を強めるとして内閣改造を行い、7人の新たな閣僚人事を発表した。

\* 4月26日フィリピン国軍報道官が身代金目的でイスラム過激派「アブサヤフ」に人質にされていたカナダ人男性が殺害されたと明らかにした。

\* 4月26日、アフガニスタンの反政府勢力「タリバン」の代表団が「和平協議に向け、仲裁役の4パキスタン政府関係者と面談するため」、パキスタンの首都イスラマバードを訪問。

\* 4月26日、南スーダン内戦の反政府勢力トップのマシャール前副大統領が和平合意に従って首都ジュバに帰還した。

\* 4月26日、スペイン国王フェリペ6世が主要4政党による連立協議の結果について「議会から4十分な支持を得られる首相候補は存在しない」と声明を発表し、連立工作依頼に失

敗したことを公表。6月26日に再選挙が実施される。

\* 4月26日（日本）、集団的自衛権の行使を認めた安保関連法は憲法違反だとして市民約500人が同法による自衛隊出動の差し止めを求める訴訟を東京地裁に起こした。同日、福島県いわき市の市民ら204人も安保法制が憲法違反だとして国に一人あたり1万円の慰謝料を求める集団訴訟を福島地裁いわき支部に起こした。

\* 4月26日、ブラジル上院が特別委員会を設置してルセフ大統領への弾劾手続きを進めるべきか議論を開始。

\* 4月27日、ベルギーの検察当局が昨年11月のパリ同時多発テロの実行犯とされるベルギー出身のサラ・アブデスラム容疑者（26）をフランスに引き渡したと発表。同容疑者は130人が死亡した事件で中心的役割を果たしたと見られている。

\* 4月27日、オーストリアの課員が今後難民が殺到した場合はほとんどの入国を拒絶できるようにする法改正を可決した。周辺国を「安全な第3国」と見なし、難民らにこうした国で難民申請をするよう求める内容。

\* 4月27日、トルコ北西部の古都プルサで自爆テロとみられる爆発が起き、少なくとも13人が不詳した。死亡した自爆犯は20名の女性と見られる。

\* 4月28日、北朝鮮が日本海添いの江原道元山付近から中距離弾道ミサイル「ムスダン」と推定される飛翔体1発を発射したが、飛翔体は発射数秒後に墜落し、発射は失敗に終わった。

\* 4月28日、「国境なき医師団（MSF）」がシリア北部アレッポでMSFが支援する病院が空爆され、患者やスタッフの少なくとも14人が死亡したと発表。

\* 4月28日、トルコの裁判所がフランス週刊誌『シャルリエブド』が掲載した風刺画を転載したとしてトルコの左派系紙『ジウムフリエット』のコラムニスト2人に禁固2年を宣告した。

\* 4月28日、イギリスのハモンド外相がキューバを訪問した。同国外相のキューバ訪問は1959年のキューバ革命以来初めて。

\* 4月29日、アイルランドで2月に実施された下院議員（定数158）で第1党となったケニー首相が率いる統一アイルランド党（50議席）と第2党の共和党（44議席）の少数政権樹立で基本合意した。

\* 4月29日、シリア国軍が米ロ両国の合意を受けて、国内2ヶ所での戦闘「凍結」を発表した。政府軍と反体制派の工房で多数の民間人犠牲者が出ている北部アレッポは対象に含まれていない。

\* 4月29日、イランの国会議員（定数290）選挙で、2月26日に実施された投票で結果が決まらなかった68議席の決選投票が行われ、改革派と穏健保守派が34議席で、22議席であった保守強硬派を圧倒した。

\* 4月29～30日、ウクライナ東部のドネツク州アウデウフカ等で政府軍と新ロシア派の戦闘が発生し、政府軍3人、親ロシア派2人の計5人が死亡した。

\* 4月30日、イラクの首都バグダッドでイスラム教シーア派の宗教指導者サドル師を支持する数千人規模のグループが政治改革の推進を訴えて国会に乱入。サドル派による行動は、4月28日、バイデン米国副大統領がバグダッドを訪問してアバディ首相への支持を確認したことに対する反発が背景にあったと見られる。同国政府は非常事態宣言を発令した。